

**自然科学研究機構国立天文台年俸制職員
(チリ観測所 特任専門員：制御ソフトウェア開発担当) 公募**

【募集職種】 年俸制職員（特任専門員）1名

【所 属】 チリ観測所

【勤 務 地】 東京都三鷹市大沢2-21-1

【業務内容】

- 相関器制御ソフトウェアの開発・試験・保守
- 望遠鏡制御ソフトウェアの開発・試験・保守

【雇用期間】

採用決定後できるだけ早い時期 ～ 採用日より3年間（更新の可能性有）※

試用期間：有（採用日から6か月）

※ 契約期間満了年度に、契約期間満了時の業務量、従事している業務の進捗状況、職員の勤務能力・勤務成績・勤務態度、機構の財務状況を踏まえて、最長10年間まで契約を更新することがあります。

ただし平成25年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成25年4月1日以降の通算雇用期間が10年間までの契約となります。

【応募資格】

- 上記業務に必要な知識と経験を有し、以下の項目(1-3)を満たすこと。
 1. プログラミング言語C, C++, Javaどれかには堪能なこと。
 2. ソフトウェア英文文書の読み書きが可能なこと。
 3. 情報処理技術者試験で基本情報技術者資格相当以上の知識を有すること。
- 必須ではないがあれば優遇される知識・技能・経験は以下(A-F)の通りである。
 - A. 天文に限らず、各種装置の設計、開発、試験、運用の経験がある。
 - B. ネットワーク、分散計算機環境、UNIX系計算機の管理経験がある。
 - C. GPUやマルチコアを使った高速演算処理プログラムの開発経験がある。
 - D. 天文学の素養や望遠鏡、天文観測装置の使用経験がある。
 - E. 英語による会話が可能なこと（TOEIC750点以上、英検は準一級以上）。
 - F. チームでソフトウェア開発をおこなった経験がある。

【勤務形態】

週5日（月～金勤務。土・日・祝日、年末年始（12/29-翌年1/3）は休日）

始業時刻 8:30～終業時刻 17:15（休憩60分、週あたり38.75時間勤務）

【待 遇】

給与は年俸制。概ね500万円～700万円

- ・ 職務内容、実績、経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給
- ・ 年度毎の業績評価により昇給額を決定します。

通勤手当支給（上限55,000円／月）

文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

有給休暇（年次休暇、夏季休暇、忌引等）あり

託児施設あり（生後57日～） ※ただし、状況によっては利用できない場合もあります。

※手当は自然科学研究機構の規程による。

【選考方法】 書類選考及び面接による選考

【提出書類】

- (1) 履歴書（写真貼付）、職務経歴書
- (2) ソフトウェア開発や計算機に関するこれまでの経験・実績を含め、抱負をまとめた文章（A4で2頁程度）。また、【応募資格】の中で、どの項目にどの程度当てはまるか、英検、TOEIC等の英語力を評価する試験を受験していれば、その結果を明記してください。
- (3) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（Email アドレス、電話番号）

【応募締切】 2018年10月12日（金）日本時間15時必着

【提 出 先】

（メール）E-mail : alma-yuki-application_AT_ao.ac.jp

上記提出書類をPDFに変換し、送付してください。

応募時の注意点：

- ・上記メールアドレスの“_AT_”を@に置き換えて送信してください。（以下、同様）
- ・メールタイトルに「特任専門員（チリ観測所）制御ソフトウェア開発担当応募」と明記ください。
- ・一度に添付するファイルのサイズは10MB以内としてください。
- ・応募書類受理の後、祝休日を除き3日以内に受領確認のメールを送ります。メールが届かない場合には、上記問い合わせ先までご連絡ください。

【問合せ先】

（応募に関する内容）

国立天文台 事務部総務課人事係

TEL：0422-34-3658

E-mail：apply-qa_AT_nao.ac.jp

（職務内容に関する内容）

国立天文台 チリ観測所 小杉 城治

E-mail：：george.kosugi_AT_nao.ac.jp

※問合せの電子メールのヘッダーは、“nenpousei tokunin inquiry”として下さい。

【注意事項】

- ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用致しません。選考後、採用者以外の個人情報は責任を持って破棄します。
- ・面接に要する費用（交通費等）は応募者の自己負担となります。

【備考】

- ・本職は日本育英会奨学金返還免除職非該当です。
- ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは、<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。